

平成23年3月11日東北地方太平洋沖地震発生

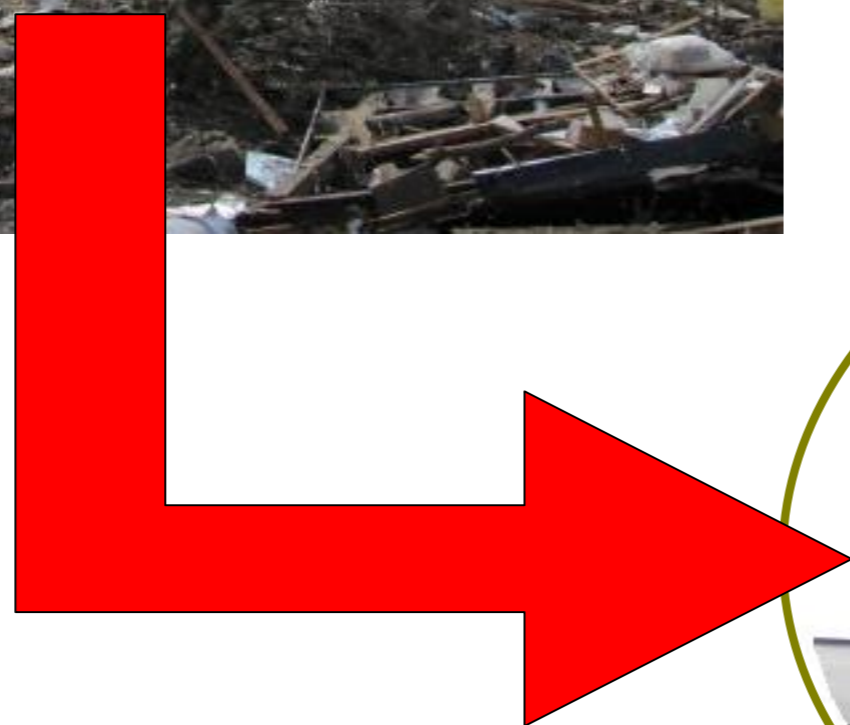
日本国内観測至上最大 M9.0を記録





津波によって倒壊した地域で一軒だけ残っている家。
それは近代ホームが20年前から取り組んでいるFPパネルで作った家

FP パネルはウレタンを20tの力で圧縮したものです
ので、一般の住宅の 1.7 倍の強度があります。





家の中1階部分の水の位置



このラインまで水が来ました

FP パネルは水を吸わない性質なので、1階部分の半分まで浸水したにもかかわらず被害は少ない。
周りの家は壊滅状態だが、一部の修繕で充分住める状況にできる。

『こんな形で家の強さが立証されるとは思っても見なかった・・・』

施工された岩手県サトコンホームさんの佐藤社長が仰っていました。

これだけのたくさんの被害の中このようにして建ち続けている事は本当に驚きます。

『衣・食・住』人間の生活には欠かせないものです。このような状態でも1つ1つ解決していきたい問題です。
救援物資やライフラインの確保が不十分な状態でも、安心して住める家があるというのはとてもありがたい事です。
住宅屋としてやらなければならない事は、『命を守る器』を造る事だが、改めて考えさせてもらいました。